

◆建設災害復旧事業費・建設災害関連改良対策事業費

1. 事業概要

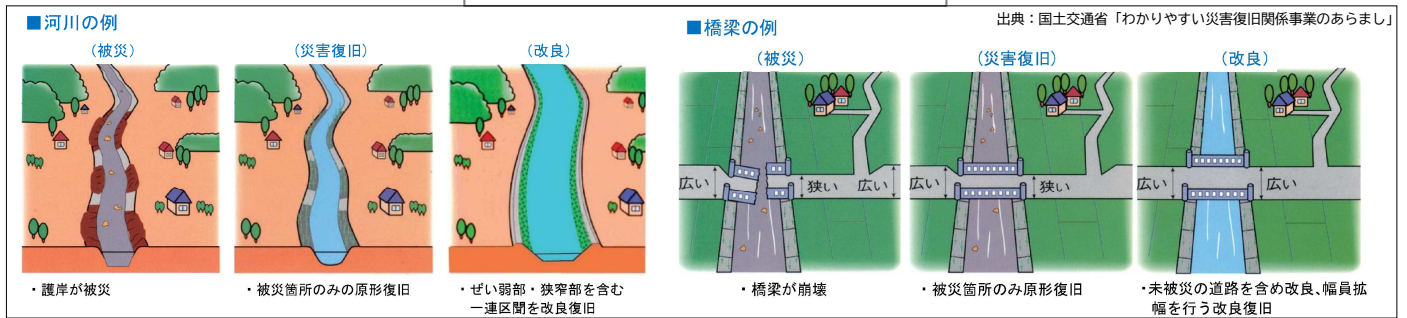
○建設災害復旧事業費

被災した公共土木施設を原形に復旧することを基本としています。（国庫負担率2／3以上）

○建設災害関連改良対策事業費

災害復旧事業費（国庫負担率2／3以上）に改良工事費（国庫補助率1／2）を加え、再度災害防止を図る事業（改良復旧事業）です。

災害復旧関係事業の復旧イメージ図



2. 令和5年度実施内容

令和4年6月から8月の豪雨で被災した公共土木施設の復旧、改良

○災害復旧事業 実施箇所：194箇所

○改良復旧事業 実施箇所：3箇所

<主な施設>

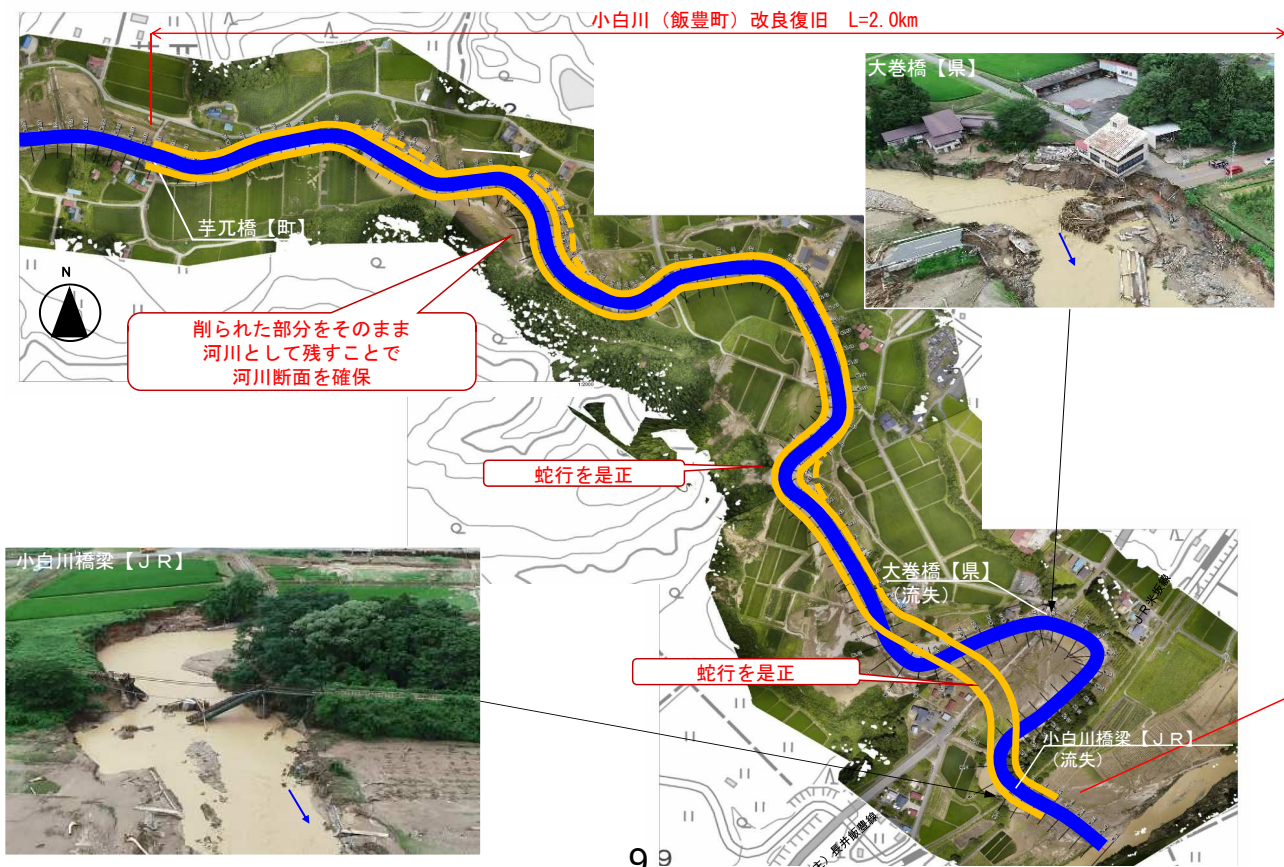
<主な施設>

・道路 22箇所 ・河川 172箇所

・一級河川 小白川 ・一級河川 萩生川

◆事例：改良復旧事業 小白川（飯豊町）

令和4年8月の大雨による災害を踏まえた、再度災害防止のための改良復旧（拡幅、蛇行の是正等）を実施



◆河川整備補助事業費

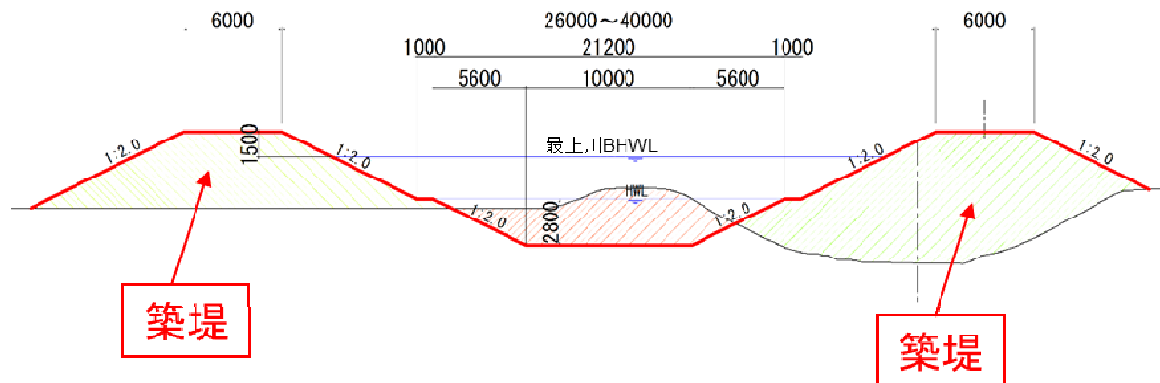
1. 事業概要

近年の洪水で浸水被害が発生した河川における再度災害防止のための河道掘削や堤防整備等、最上川の緊急治水対策プロジェクト等に基づく計画的な河川整備を推進します。

2. 令和5年度実施内容

令和5年度の事業実施予定箇所
・古佐川 外28河川

計画横断面図



河北町押切地区浸水状況 (R2.7豪雨)

◆事例紹介：一級河川 最上川水系 古佐川 (河北町谷地外 地内)

最上川のバックウォーターに対する浸水被害の解消のため、国土交通省、河北町とも連携し、築堤整備、河道掘削等の治水対策を行う。

(令和5年度実施内容：設計、用地調査、用地補償 等)



(R4.10 住民説明会)

(写真提供：国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所)

◆河川流下能力向上・持続化対策事業費

1. 事業概要

氾濫の可能性が特に高い箇所について、堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川の流下能力を向上させ、県民の安全・安心の確保を図ります。あわせて、将来の堆積土砂撤去等の負担軽減のため、再堆積抑制のための流路保全対策（床止め）を行うことで、流下能力確保の持続化を図ります。

2. 令和5年度実施内容

①河川流下能力向上対策

堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川流下能力を確保し、浸水被害の軽減を図ります。

②流路保全対策（床止め）

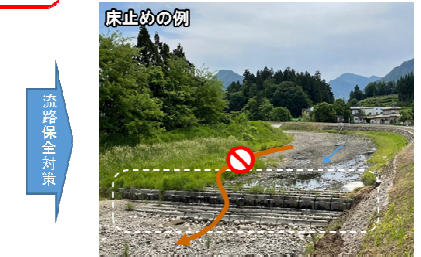
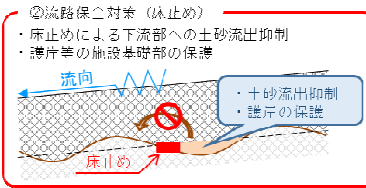
流下能力向上対策とあわせ、上流からの土砂流出による再堆積を抑制するため、床止めの設置などを行います。

L=約60km

①河川流下能力向上対策
・河川の流下能力を確保するための堆積土砂の浸透、支障木の伐採



▲①河川流下能力向上対策の効果事例



▲②流路保全対策（床止め）の対策後イメージ

◆事例紹介：一級河川 最上川水系 馬見ヶ崎川ほか

(着工前)



(完成)



馬見ヶ崎川(山形市印役町)
堆積土砂撤去5,000m³

鬼面川(川西町下平柳)
支障木伐採21,000m²

火の沢川(最上町黒澤)
床止め設置